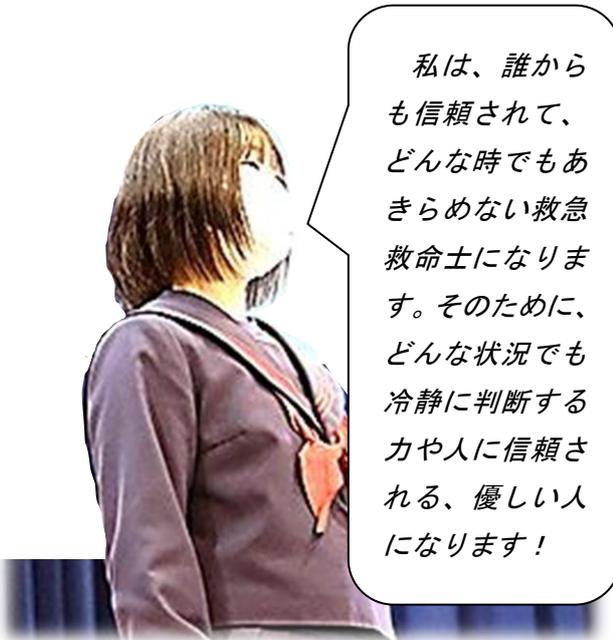


校長室の窓から

2月5日（土）立志式に寄せてー キャリア教育の推進 志は人を変える、人生を創る



私は、誰からも信頼されて、どんな時でもあきらめない救急救命士になります。そのために、どんな状況でも冷静に判断する力や人に信頼される、優しい人になります！

そして、3年生になると、進路説明会や高等学校等の体験入学など、卒業後の現実的な進路について考える機会が多くなります。本日は、公立高校への出願期間の初日であり、受験生にとっては、ラストスパートの時期となっています。

本校では、これからも小学校とのつながり、家庭や地域との連携を意識しながら、キャリア教育を推進していきたいと思えます。そして、生徒には「自分がしたいこと」「自分ができること」に加えて、「社会が求めていること」も視野に入れながら、夢をデザインする力を身に付け、一人ひとりに夢の実現をめざしてほしいと思えます。

【学舎の隅で】 ▼先々週の3年生の道徳の時間、各教室でキャリア教育に関する授業を行いました。「二番目の夢で生きる」と題して、私自身の人生を題材にし、卒業前の生徒に考えてほしいことを伝えてみました。どの教室でも真剣なまなざしと温かい感想があり、うれしく思いました。▼その3年生も、巣立つ日が近づいています。

前号でもお知らせしましたが、2月5日（土）の午後から立志式を挙行しました。立志式は14歳を迎える中学2年生が、自分の将来を見つめて志を立て、目的意識をもった生き方を考えるために行っています。当日は、2年生一人ひとりが堂々と決意表明をし、ギャラリーで見守っていた1年生にも、さわやかな感動を与えていました。

さて、山口県では、夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、キャリア教育を推進しています。本校でも、1年生は働く人へのインタビュー、職業調べ、職業講話、2年生では、3日間の職場体験（今年度はコロナ禍のため半日の職場見学に変更）等のほか、教科の授業や道徳、学級活動でもキャリア教育の視点をもった取組をしています。

立志式の式辞から

■志や夢を実現させるために大切なこと

1 一歩目を踏み出す勇気と努力

夢は自分の中で思っているだけでは、何も進まない。実現させるためには、いつまでに何をすればよいかの計画を立て、階段を一段一段上がるように小さな目標を達成していくことが大切だ。また、その一歩目を踏み出すときに、少しばかりの勇気や努力、自分の弱い気持ちに勝とうとするエネルギーが必要になってくる。

2 周りの人から応援してもらうために

夢を実現させるためには、周りの人の応援が必要だ。人から応援してもらうためには、「あたりまえのことをあたりまえにする」ことが大切になってくる。挨拶をする、ルールを守る、人を思いやるなど、あたりまえのことをあたりまえにして、人から応援してもらえる人になってほしい。